

新型コロナウイルス感染症に配慮した 学習活動例（中学校編）

新しい生活様式における保健体育授業の工夫(映像資料)

はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、社会全体の生活様式に大きな影響を及ぼしています。特に学校では、緊急事態宣言等による臨時休業、学校行事の見送りなど、これまで経験したことのない変化の中で、生徒はこれまで以上に人間関係の構築や自己肯定感の醸成が難しくなっています。これらのことから、新しい生活様式の中で、資質・能力の3つの柱をバランスよく育成できる保健体育の果たす役割は極めて重要と言えます。本映像が、地域の感染状況を踏まえた新しい生活様式における授業づくりの参考になるよう願っています。

代表 桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部 佐藤 豊

新しい生活様式における保健体育授業の実施に向けて

新型コロナウイルスの感染症を正しく理解させ、各地域の感染レベルに応じた対応を実施し、保健体育の授業での感染防止と学習の充実を図りましょう。

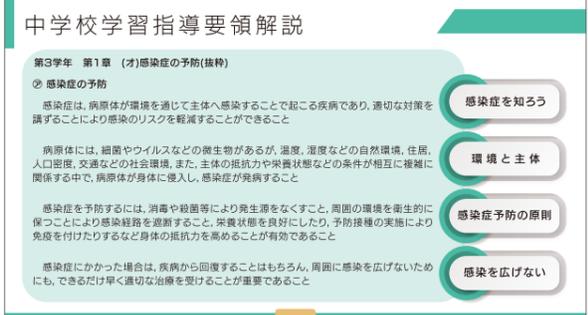
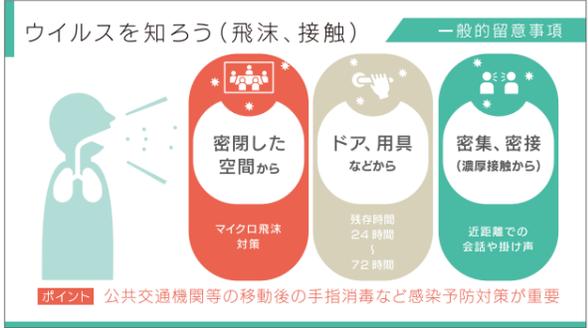


状況の変化に対応して

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動(自由参加の活動)
レベル3	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	感染リスクの低い活動から徐々に実施	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

出典：文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」

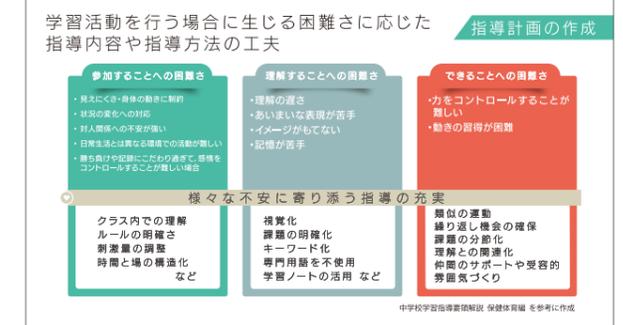


新型コロナウイルス感染症に配慮した授業の工夫のポイント

主体と環境の視点から



ユニバーサル・デザインの視点から



施設への移動時や集合の隊形の工夫、活動と活動の間の換気、手洗い、消毒など学習環境のマネジメントと同時に、すべての生徒が安心して参加できる指導内容や指導方法を工夫しましょう。「主体的・対話的で深い学び」を感染リスクを減少させながら継続しましょう。

- タブレットやホワイトボードを使って「気付き」と「理解」と「対話」を引き出す。
- ペアやグループでの活動では、密にならない「ソーシャルディスタンス」を守る。
- マークの利用、用具の消毒、換気を十分にすることで、安心できる学習環境をつくる。
- 困難さに応じた指導の工夫の視点から、行動の仕方のルールや掲示などの指導を充実しましょう。

外部評価委員の声

山崎 悦宏 (横浜市教育委員会 事務局 学校教育企画部 小中学校企画課)
コロナ禍の中、学校は感染防止を図りながら、生徒の学習を保障しなければいけません。その中で、この学習動画には、生徒が安全に安心して参加することができる指導内容や指導方法がまとめられています。是非、学校現場で生かしていただきたいと思っています。

岩佐 知美 (高槻市教育委員会 教職員課)
感染予防対策を講じながらどのように子供たちの資質・能力を育成するのが、多くの先生方が日々悩まれている授業づくりのヒントが動画で分かりやすく示されています。ぜひ、これからの授業づくりに生かしていただきたいです。

藤田 弘美 (行橋市立延永小学校)
コロナ禍の今こそ、保健体育学習の価値や意義を再認識する時ではないでしょうか。この動画では、科学的かつ実践可能な感染予防策の下、領域や種目の特性に触れるための工夫が詰まった様々な事例を紹介しています。是非、明日からの授業づくりに役立ててください。

清田 美紀 (東広島市教育委員会 学校教育部 指導課)
感染症対策はもちろんのこと、学習指導要領の内容に対応した教材、活動、指導上のポイントといった授業づくりのためのアイデアが、ぎゅっと凝縮されています。教材研究の一助となる、各研修でも活用できそう…とても汎用性のある内容が魅力です。

「新型コロナウイルス感染症に配慮した学習活動の開発(中学校、高等学校保健体育)」資料作成委員会(2021.3現在)

- 開発委員
- 総説/体づくり運動
 - 器械運動
 - 陸上競技
 - 水泳
 - 球技
 - 武道
 - ダンス
 - 保健
 - 医学監修
 - 編集

- 外部評価委員
- 青木 哲也 (北九州市立篠崎中学校)
 - 岩佐 知美 (高槻市教育委員会)
 - 尾形 友秀 (北海道教育委員会)
 - 佐藤 若 (山形県立南陽高等学校)
 - 清田 美紀 (東広島市教育委員会)
 - 瀬尾 一幸 (神奈川県立総合教育センター)
 - 藤田 弘美 (行橋市立延永小学校)
 - 山崎 悦宏 (横浜市教育委員会)
- スポーツ庁
- 伊藤 賢 (スポーツ庁政策課学校体育室長)
 - 古市 智 (スポーツ庁政策課学校体育室長補佐)
 - 関 伸夫 (スポーツ庁政策課教科調査官)
 - 横嶋 剛 (スポーツ庁政策課教科調査官)
 - 齋藤 祐介 (スポーツ庁政策課学校体育室指導係(併)保健教育係)
 - 後藤 尚道 (スポーツ庁政策課学校体育室指導係(併)保健教育係)

映像一覧

映像は総論と各領域から構成されています。

映像は、スポーツ庁ホームページから視聴してください。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/jsa_00001.htm



総論

保健体育で共通する新しい生活様式の留意点をまとめています。正しく恐れることへの理解を深め、運動の特性を味わえる保健体育の学習を進めていきましょう。

- 1 基本的対策の考え方
- 2 各領域共通の留意事項



体づくり運動

心身の状態に気付く、仲間と関わる活動、体力の要素に応じた運動の仕方や組み合わせ方の活動の留意点や言葉かけ、感染予防の工夫を紹介します。

- 1 体ほぐしの運動の授業における工夫(気付き)
- 2 体ほぐしの運動の授業における工夫(関わり合い)
- 3 体の動きを高める運動の授業における工夫(体の柔らかさ・巧みな動き)
- 4 体の動きを高める運動の授業における工夫(力強い動き・動きを持続する能力)



器械運動

器械運動で使用する用具の消毒等の留意点やマット運動、鉄棒運動、跳び箱運動、平均台運動の学習時の隊列の工夫、内容の工夫など、密な状態をつくらないように効率よく学習する例を紹介します。

- 1 マット運動の授業における工夫
- 2 鉄棒運動の授業における工夫
- 3 平均台運動の授業における工夫
- 4 跳び箱運動の授業における工夫



陸上競技

グラウンドで授業を行う際の整列や器具の配置等の具体例を示します。また、生徒相互で役割分担をしながら学習を進める中で、課題発見から合理的解決に向けての取組例を紹介します。

- 1 短距離走・リレー、長距離走の授業における工夫
- 2 ハードル走の授業における工夫
- 3 走り幅跳びの授業における工夫



水泳

授業前の準備や授業後の活動における注意点、交流を重視した導入活動や、教え合いを重視した泳法学習などにおける、プール内外での活動の工夫や留意点を紹介します。

- 1 水泳の授業における工夫(入水前後の活動)
- 2 水泳の授業における工夫(水慣れの活動)
- 3 水泳の授業における工夫(泳法の学習)



球技(ゴール型)

近接した場面を減少させながらゴール前の攻防を学習します。パスを用いたゲームによってお互いに間隔を取り、密にならないように授業を進めるための参考例を紹介します。

- 1 バスケットボールの授業における工夫①
- 2 バスケットボールの授業における工夫②



球技(ネット型)

ネット型では、バレーボールを例に、基礎的なボールの操作と空いた場所を巡る攻防を学ぶ際、集団での連携したプレイの中でも密にならないような工夫例を紹介します。

- 1 バレーボールの授業における工夫①
- 2 バレーボールの授業における工夫②



球技(ベースボール型)

基礎的なキャッチボールからゲーム形式まで、技術的な段階を踏みながら、教え合いの活動を保ちつつ進める際に、密にならない場の工夫例を紹介します。

- 1 ソフトボールの授業における工夫



武道(柔道)

密を避けるための場の工夫と授業の進め方を紹介します。また、技の習得では、一人で練習方法や、距離をとっての練習、柔道衣や帯を活用した工夫例を紹介しています。

- 1 柔道の授業における工夫(投げ技)
- 2 柔道の授業における工夫(固め技)



武道(剣道)

竹刀や剣道具を使用する際の対策の具体例とともに、距離を保ちながらもペアや少人数グループで互いに協力しながら形づくりに取り組む授業例について紹介します。

- 1 剣道の授業における工夫①
- 2 剣道の授業における工夫②



ダンス

「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」の各ダンスについて、密を避けながらも、仲間と関わる事ができる場の設定や方法を中心に、それぞれのダンスの特性を段階的に学ぶ際の留意点を紹介します。

- 1 創作ダンスの授業における工夫(導入の活動)
- 2 創作ダンスの授業における工夫(身近な生活や日常動作)
- 3 フォークダンスの授業における工夫
- 4 現代的なリズムのダンスの授業における工夫(ロックのリズム①)
- 5 現代的なリズムのダンスの授業における工夫(ロックのリズム②)



保健

教師の一斉授業、生徒同士の話し合い学習、更には心肺蘇生法を例に実習時の留意点を紹介します。感染リスクを減少しつつ、主体的・対話的で深い学びを継続しましょう。

- 1 話し合いの活動における工夫
- 2 応急手当の実習における工夫

